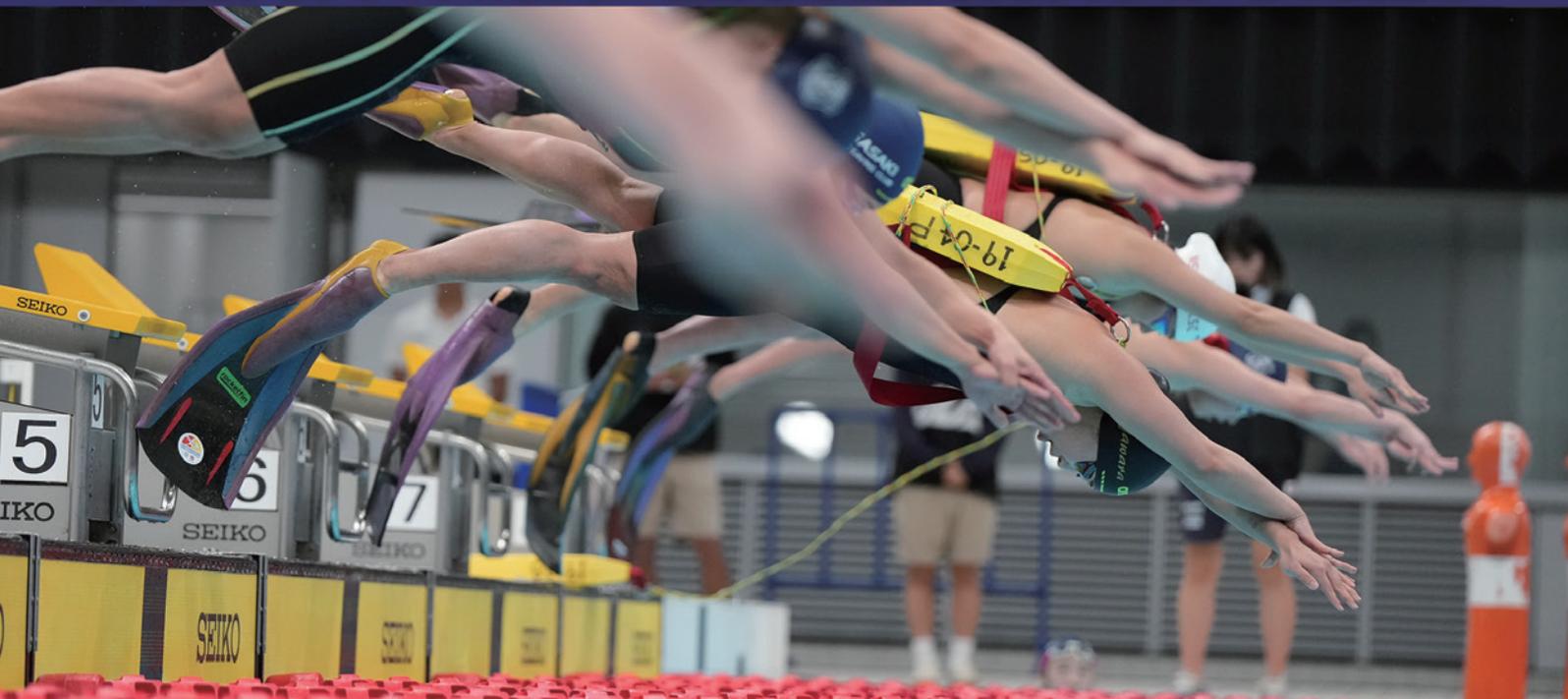




# 全日本シリーズ、ついに決着!

第38回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会  
JAPAN NATIONAL LIFESAVING POOL CHAMPIONSHIPS

於・東京アクアティクスセンター(東京都江東区)2026年2月21日(土)22日(日)



主催 公益財団法人日本ライフセービング協会  
公認 国際ライフセービング連盟(ILS)

後援 スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本水泳連盟、公益財団法人東京都水泳協会、日本赤十字社

助成 公益財団法人業務スーパージャパンドリーム財団



公益財団法人  
日本ライフセービング協会  
理事長  
**入谷 拓哉**

第38回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会を開催するにあたり、主催者を代表しここに謹んでご挨拶申し上げます。  
今大会も昨年から引き続き、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（2021年開催）の水泳競技の会場でもあった、東京アクアティクスセンターにて実施いたします。大変素晴らしい施設をお借りするにあたりご尽力いただきました、公益財団法人東京都水泳協会様をはじめとする関係諸機関、関係各位に深く感謝申し上げます。

ライフセービングスポーツは救助技術と体力の向上を目的に競い合い、「ゴールの先に救う生命がある」という理念を体現するものであります。本日ここに全国のライフセーバーが集い、「生命を救うスポーツ」として最高の技術を競う絶好の機会となることを願ってやみません。  
一方で、参加者全員が生命の尊厳を念頭に、ライフセービングスポーツを通じてその価値観を発信する機会でもあります。参加者各位は0.1秒を競い合い、そこに一喜一憂しながらも、「0.1秒」を競う意義について改めて考えていただき、ライフセービングスポーツを「魅せる」ことにも注力していただきたい。そして、全国のライフセーバーと手を取り合い、水辺の事故ゼロの実現に向け、引き続き一致団結して歩んで参りたいと存じます。  
我々のビジョン（目的）は「水辺の事故ゼロ」です。それを実現するために一番必要なことは、水辺の安全教育をしっかりと普及させていくことです。つまり「教育」にこそ本協会の担う役割があり根幹にある使命です。水辺における様々な活動において危険な状況にならないように「楽しみながら安全を考えて行動できる能力」を身につけるための教育の普及が重要です。その取り組みのひとつとして、日本財団のご支援を受けて、関係諸機関と手を取り合い、「海のそなえプロジェクト」を展開しています。なかでも、東京2020五輪のカヌー・スラローム競技会場跡地である「カヌー・スラロームセンター」（東京都江戸川区）を活用した、流れのない水泳用プールや座学では得られない“おぼれ”のリアルな体験を通じて、命を守る判断力や行動力を身につける新しい水難事故防止対策教育プログラムを実施しました。こういった場を積極的に活用し、教育・救命・スポーツ・福祉・環境の活動を広め、全国のライフセーバーと手を取り合い、水辺の事故ゼロの実現をめざします。  
結びに、本大会を開催するにあたり、多大なるご支援とご協力を賜りました関係諸機関、関係各位に対しまして、改めて心より御礼と感謝を申し上げます。



スポーツ庁長官  
**河合 純一**

第38回全日本ライフセービング・プール選手権大会が、盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

ライフセービングは、単なるスポーツ競技にとどまらず、水辺の事故から尊い生命を守るための極めて重要な活動です。日頃から技術の研鑽と体力の向上に励み、いざという時に他者を救う訓練に取り組まれている皆様の姿勢は、多くの国民の大きな安心につながるものです。

本大会は、ライフセービングの地域における普及、発展に大きく寄与するとともに、水辺の安全意識の向上を目的に開催されており、生涯スポーツの振興からも大変意義深いものです。

スポーツ庁は、昨年、創設10周年を迎えました。スポーツ立国の実現に向け、次の10年に向けてもスポーツの価値を更に高め、誰もがスポーツに親しめる社会を目指してまいります。

選手の皆様におかれましては、日頃の活動の成果を十分に発揮していただくとともに、全国から集まった仲間との親睦を大いに深めてください。また、今後とも誰もが安心してマリンスポーツに親しめる環境づくりや水辺での事故の未然防止と安全確保のために、ますます御活躍されることを期待しております。

結びに、本大会の開催に御尽力されました公益財団法人日本ライフセービング協会をはじめ、関係の皆様が心から敬意を表しますとともに、本大会の御成功と選手の皆様の御健闘を祈念して、お祝いの言葉といたします。



東京都知事  
**小池 百合子**

「第38回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会」の開催を、心よりお慶び申し上げます。  
ライフセービングは、主に水難事故による犠牲者を一人でも減らすための人命救助活動です。本大会は、競技種目を通じてライフセービングに求められる救助技術・体力の向上を図るとともに、地域におけるライフセービングの振興や安全思想の普及につなげることを目的に開催されています。

出場する選手の皆様、日頃の訓練の成果を存分に発揮してください。皆様が積み重ねた訓練は、現場での救助活動に直結します。また、選手同士や競技関係者の皆様との交流を深めていただくことで、今後の社会貢献活動の輪を広げる大会となることを願っています。

東京都は、全ての都民・国民の皆様が、スポーツを通じて感動を分かち合える「スポーツフィールド・東京」を実現に向け、取組を更に加速させてまいります。

昨年開催された陸上競技の祭典である世界陸上、聴覚障害のあるアスリートの総合的な国際大会・デフリンピックを通じ、更に高まったスポーツへの関心と意欲を持続させ、スポーツが持つ力を最大限に活かすことで、笑顔と希望に満ち溢れる未来を一緒に創り上げていきましょう。

本大会の御成功と、公益財団法人日本ライフセービング協会をはじめ関係者の皆様の益々の御活躍を祈念して、御挨拶といたします。



## OVERVIEW 大会概要

### 第38回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会 The 38th Japan National Pool Lifesaving Championships

■日時場所 2026年2月21日(土)～22日(日) 東京アクアティクスセンター (東京都江東区)

- 主催 公益財団法人日本ライフセービング協会
- 公認 国際ライフセービング連盟 (ILS: International Life Saving Federation)
- 後援 スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本水泳連盟、公益財団法人東京都水泳協会、日本赤十字社
- 助成 公益財団法人業務スーパー・ジャパンドリーム財団
- 参加数 38チーム 536名



#### ■本大会参加チーム

	中学生	高校生	大学生	一般	合計
1 十文字中学・高等学校LSC	7	6	0	0	13
2 昭和第一学園高等学校ライフセービング部	0	10	0	0	10
3 日本体育大学荏原高等学校LSC	0	26	0	0	26
4 岩井LSC	0	0	13	0	13
5 大洗SLSC	0	0	13	3	16
6 大磯LSC	0	0	4	0	4
7 大阪LSC	0	0	2	0	2
8 大竹SLSC	0	0	24	2	26
9 御宿LSC	0	0	18	1	19
10 鹿嶋LGT	0	0	27	2	29
11 柏崎LSC	1	3	0	1	5
12 勝浦LSC	1	0	11	6	18
13 鎌倉LG	1	0	1	0	2
14 鴨川LSC	0	0	20	4	24
15 キタジマアクアティクス	9	13	0	2	24
16 九十九里LSC	0	0	5	8	13
17 神津島LSC	0	0	18	1	19
18 下田LSC	0	0	11	5	16
19 湘南ひらつかLSC	0	2	6	1	9
20 白浜LSC	2	0	17	0	19
21 逗子SLSC	0	0	3	1	4
22 館山SLSC	0	4	5	6	15
23 淡輪LSC	0	0	9	0	9
24 茅ヶ崎SLSC	1	1	10	5	17
25 銚子LC	1	2	11	12	26
26 辻堂LC	0	0	8	0	8
27 東京消防庁LSC	0	0	0	1	1
28 新島LSC	0	0	5	3	8
29 西伊豆LSC	0	0	13	0	13
30 西浜SLSC	13	12	12	8	45
31 波崎SLSC	0	0	19	2	21
32 牧之原LSC	0	0	7	1	8
33 南伊豆LSC	0	0	7	8	15
34 御浜沼津LSC連合	0	0	1	0	1
35 用宗LSC	0	0	8	0	8
36 湯河原LSC	0	0	11	4	15
37 若狭和田LSC	0	0	4	2	6
38 和田浦LSC	0	0	7	2	9

	中学生	高校生	大学生	一般	計
女子	26	40	132	29	227
男子	10	39	198	62	309
計	36	79	330	91	536名

#### ■昨年度（37回大会）優勝チーム

- 👑 優勝 湯河原ライフセービングクラブ
- 👑 2位 西浜サーフライフセービングクラブ
- 👑 3位 白浜ライフセービングクラブ

※上位8チームは以下のとおり  
4位 九十九里ライフセービングクラブ  
5位 茅ヶ崎サーフライフセービングクラブ  
6位 鴨川ライフセービングクラブ  
7位 大竹サーフライフセービングクラブ  
8位 南伊豆ライフセービングクラブ



1



# TEAM & PLAYERS

## 選手一覧

第38回全日本ライフセービング選手権大会 @ 東京アクアティクスセンター (東京都江東区)



## PLAYERS 選手一覧

### 1 十文字中学・高等学校LSC

1	安倍 佑美	アベ ユウビ	F	高校生	1年
2	飯野 花梨	イノカ リン	F	高校生	1年
3	今宮 未瑛	イマミヤ ミエ	F	中学生	2年
4	オハシ マヒロ	オハシ マヒロ	F	中学生	2年
5	春日 あかり	カスガ アカリ	F	高校生	3年
6	栗原 瑞香	クリハラ ルカ	F	高校生	3年
7	小野 流歌	コノハヤシ ルカ	F	高校生	2年
8	高野 渚	タカノ ナギサ	F	高校生	2年
9	中山 珠美	ナカヤマ ミク	F	中学生	3年
10	中山 絵莉子	ナカヤマ エリコ	F	中学生	3年
11	林 美穂	ハヤシ ミホ	F	高校生	2年
12	吉原 香陽	ヨシハラ カヨウ	F	中学生	2年
13	渡辺 倅希	ワタナベ ユキ	F	中学生	2年

### 2 昭和第一学園高等学校ライフセービング部

14	有泉 舞香	アリズミ マカ	F	高校生	2年
15	大村 花菜	オオムラ カナ	F	高校生	1年
16	鈴木 咲	スズキ サク	F	高校生	1年
17	小野村 圭敏	コノムラ ケイ	M	高校生	2年
18	竹野 拓真	タケノ タクマ	M	高校生	2年
19	狩野 幸恩	カノ シオン	M	高校生	2年
20	野村 優大	ノムラ ユウタ	M	高校生	3年
21	藤田 武史	フジタ タケン	M	高校生	1年
22	藤本 航大	フジモト コウダイ	M	高校生	3年
23	山本 輝斗	ヤマモト ライト	M	高校生	2年

### 3 日本体育大学荏原高等学校LSC

24	綾城 さら	アヤキ ララ	F	高校生	3年
25	池田 瑛華	イケダ エイカ	F	高校生	2年
26	大崎 真央	オオサキ マオ	F	高校生	1年
27	大橋 絆	オオハシ キズナ	F	高校生	1年
28	奥地 くるみ	オクジ クルミ	F	高校生	2年
29	小野 柚香	コノ ユズカ	F	高校生	2年
30	岸 愛妃	キシ マキ	F	高校生	3年
31	東條 奈帆	トウジョウ ナホ	F	高校生	3年
32	西辻 希羽	ニシツジ キフ	F	高校生	1年
33	橋本 美空	ハシモト ミソラ	F	高校生	1年
34	橋本 清	ハシモト ヒロ	F	高校生	2年
35	横溝 希助	ヨコミツ ヒノ	M	高校生	2年
36	石原 菜波斗	イシハラ ナナ	M	高校生	3年
37	伊藤 一希	イトウ カズキ	M	高校生	2年
38	井上 瑛太	イノウエ エータ	M	高校生	2年
39	上野 隼太	ウノ ユウタ	M	高校生	3年
40	海野 隼太郎	ウミノ ユウタロウ	M	高校生	2年
41	片桐 梨乃	カタギリ リノ	M	高校生	2年
42	小島 悠太	コジマ ユウタ	M	高校生	2年
43	佐野 敬太	サノ ケイタ	M	高校生	1年
44	中島 唯	ナカシマ ヨウ	M	高校生	2年
45	中島 流風	ナカシマ リウフウ	M	高校生	1年
46	鍋田 夏祈	ナベタ ナツキ	M	高校生	2年
47	長谷川 湊	ハセガワ ミナト	M	高校生	1年
48	長谷川 湊	ハセガワ ミナト	M	高校生	1年
49	松浦 由侑	マツウラ ユウ	M	高校生	3年

### 4 岩井LSC

50	大久保 咲良	オオクボ サクラ	F	大学生	4年
51	高尾 優衣	タカオ メイ	F	大学生	2年
52	八谷 未衣	ヤタガイ ミイ	F	大学生	1年
53	横山 ココ	ヨコヤマ ココ	F	大学生	3年
54	上利 将平	アガリ ショウヘイ	M	大学生	2年
55	石田 賢人	イシダ ケント	M	大学生	4年
56	内川 将	ウチカワ ショウ	M	大学生	1年
57	大久保 良祐	オオクボ リョウスケ	M	大学生	1年
58	倉田 征士	クラタ セイジ	M	大学生	1年
59	長瀬 立嗣	ナガセ リツ	M	大学生	2年
60	橋本 龍馬	ハシモト リョウマ	M	大学生	1年
61	蓮田 未洋	ハスヌマ ミヒロ	M	大学生	3年
62	福沼 隼也	フクノダ シュンヤ	M	大学生	4年

### 5 大洗LSC

63	藤原 香純	フジハラ カスミ	F	一般	1年
64	佐々木 愛結	ササキ アユ	F	一般	2年
65	島倉 日奈子	シマクラ ヒコ	F	大学生	2年
66	細谷 芽生	ホソヤ メイ	F	大学生	2年
67	青野 奏明	アヲノ アスカ	M	大学生	3年
68	南澤 秀虎	ナメザワ ヒデトラ	M	大学生	2年
69	大野 歩夢	オホノ アユム	M	大学生	2年
70	内村 悠輝	オウチカウ ヨウキ	M	大学生	3年
71	鏡石 拓大	カミダク ヒロ	M	大学生	2年
72	高橋 健斗	タカハシ ケント	M	大学生	3年
73	小森 尚也	コモリ ノブ	M	大学生	1年
74	山本 大樹	ヤマモト タカ	M	大学生	1年
75	藤原 一樹	フジハラ ユツキ	M	大学生	2年
76	早野 洋佑	ハヤカリ ヨウスケ	M	一般	1年
77	渡邊 悠正	ワタナベ ユウセイ	M	大学生	1年

### 6 大磯LSC

79	小島 羽呼	コジマ ユウ	F	大学生	1年
80	中島 隼南	ナカシマ セナ	F	大学生	3年
81	秋本 幹太	アキモト カタ	M	大学生	1年
82	澤田 常	サワダ ジョウ	M	大学生	4年

### 7 大版LSC

83	世儀 十那実	セキ トナミ	F	大学生	4年
84	林 巧	ハヤシ タクミ	M	大学生	3年

### 8 大竹LSC

85	宇田川 瑞生	ウダガワ ミズキ	F	大学生	2年
86	岡本 碧	オカモト ミドリ	F	大学生	1年
87	藤原 里奈	フジハラ マリナ	F	大学生	3年

### 9 御宿LSC

88	北橋 ななみ	キタダテ ナナミ	F	大学生	1年
89	藤谷 ソメイ	フジヤ ソメイ	F	大学生	1年
90	山口 まひな	ヤマグチ マヒナ	F	大学生	1年
91	武田 理衣	タケダ リイ	F	大学生	1年
92	中村 瑠衣	ナカムラ ルイ	F	大学生	1年
93	山本 理穂子	ヤマモト リホコ	F	大学生	1年
94	山本 実佳	ヤマモト ミカ	F	大学生	2年
95	吉村 莉衣子	ヨシムラ レイコ	F	大学生	2年
96	渡邊 陽葵	ワタナベ ハナ	F	大学生	2年
97	安島 蓮	アジマ レン	F	大学生	2年
98	阿部 千夏生	アベ チカラ	M	大学生	2年
99	阿部 勇士	アベ ユウジ	M	大学生	1年
100	南宮 利祐	アミノ リツアキ	M	一般	1年
101	今野 弘祐	キタオ コウスケ	M	大学生	1年
102	今野 壮太	キタオ ソウタ	M	大学生	1年
103	菅原 千穂	カンハラ チホ	M	一般	1年
104	藤口 広太	フジグチ ヒロタ	M	大学生	2年
105	辻 翔太郎	ツジ ショウタロウ	M	大学生	4年
106	辻 翔太郎	ツジ ショウタロウ	M	大学生	4年
107	橋下 悠矢	ハシノカ ユウヤ	M	大学生	3年
108	橋下 悠矢	ハシノカ ユウヤ	M	大学生	3年
109	山田 直輝	ヤマダ ナオキ	M	大学生	3年
110	山田 直輝	ヤマダ ナオキ	M	大学生	1年

### 10 鹿嶋ライフガードチーム

111	乙黒 彩来	イレイ ユツキ	F	大学生	3年
112	久保田 優奈	クボタ ユナ	F	大学生	2年
113	久保田 優奈	クボタ ユナ	F	大学生	2年
114	姫瀬 比那	ヒメセキチ ヒナ	F	大学生	2年
115	那月 那月	ナツキ ナツキ	F	大学生	3年
116	波波 凛	ナツキ ハナ	F	大学生	2年
117	内田 悠矢	ウチノダ ユウヤ	F	大学生	3年
118	大内 悠矢	オウナミ ユウヤ	F	大学生	3年
119	大沼 景之介	オノミ ツクシ	M	大学生	4年
120	小笠原 景之介	オガサワ ケイジ	M	大学生	1年
121	小林 大和	コバヤシ タク	M	大学生	1年
122	小森 大和	コノムラ ヤマト	M	大学生	3年
123	穴戸 新太	アナド シンタ	M	大学生	3年
124	香西 真	カクシ マコト	M	大学生	3年
125	山崎 昌也	ヤマザキ マサキ	M	大学生	1年
126	林 昌也	ハヤシ マサキ	M	大学生	1年
127	藤島 瑞希	フジシマ ミツキ	M	大学生	1年
128	丸山 敬真	マルヤマ ケイマ	M	大学生	1年
129	塚本 望	ツカモト ノゾム	M	大学生	1年

### 11 柏崎LSC

130	青山 そら	アオヤマ ソラ	F	大学生	2年
131	川合 玲奈	カワヘリ レイナ	F	大学生	4年
132	小橋 桃	コハシ モモ	F	大学生	4年
133	坂本 歩	サカモト ヒロ	F	大学生	2年
134	中村 美空	ナカムラ ミソラ	F	一般	2年
135	中村 美空	ナカムラ ミソラ	F	一般	2年
136	藤原 葉	フジハラ ユツキ	F	大学生	1年
137	平瀬 芽生	ヒラセ メイ	F	大学生	1年
138	古澤 すみれ	コサヅ スミレ	F	大学生	2年
139	堀田 隼	ホリタ ユン	F	一般	1年
140	松元 愛海	マツモト アイミ	F	一般	1年
141	山本 周太	ヤマモト シウタ	M	大学生	1年
142	石川 唯	イシカワ ユイ	M	大学生	1年
143	山本 唯	ヤマモト ユイ	M	大学生	1年
144	岩本 青波	イワモト アヲハ	M	大学生	2年
145	遠藤 山	エンドウ ツツキ	M	大学生	1年
146	大久保 泰和	オオクボ タク	M	大学生	1年
147	菊池 凱	キキチ ケイ	M	大学生	1年
148	小橋 廉太郎	コハシ レンタロウ	M	大学生	4年
149	橋本 清希	ハシモト キヨカ	M	大学生	3年
150	高池 忠伸	タカイケ タダノブ	M	大学生	1年
151	高橋 英大	タカハシ ヒデヒロ	M	大学生	1年
152	中原 佑太	ナカハラ ユウタ	M	大学生	2年
153	藤原 ユキ	フジハラ ユキ	M	大学生	1年
154	三浦 隼	ミウラ ハヤト	M	大学生	2年
155	矢田 壮史朗	ヤタ ソウシロウ	M	大学生	1年
156	山下 東紀	ヤマダ ヒルキ	M	大学生	3年
157	山本 碧	ヤマモト アト	M	大学生	1年
158	和田 隼人	ワタミ ユイ	M	大学生	2年

### 12 勝浦LSC

159	藤原 悠輝	フジハラ ユウキ	F	高校生	1年
160	千鶴 千鶴	チヅル チヅル	F	高校生	2年
161	山崎 悠輝	ヤマザキ ユウキ	F	高校生	3年
162	吉田 千鶴	ヨシダ チュウ	F	高校生	3年
163	藤原 遥哉	フジハラ ハルヤ	M	一般	1年

### 13 鎌倉ライフガード

164	赤坂 弥鈴	アカサカ ミレイ	F	大学生	1年
165	石塚 香	イシヅカ コノ	F	一般	1年
166	佐野 涼	サノ スズカ	F	大学生	3年
167	武内 瑞穂	タケウチ ルナ	F	大学生	4年
168	武内 優夏	タケウチ ユカ	F	大学生	1年
169	中野 飛	ナカノ ヒナ	F	大学生	4年
170	北野 飛	キタノ ヒナ	F	大学生	4年
171	萩原 暖	ハギハラ ユウ	F	大学生	2年
172	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
173	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
174	藤原 遥	フジハラ アツム	M	一般	1年
175	志村 海澄	シムラ カイト	M	大学生	1年
176	田中 悠希	タナカ ユウキ	M	一般	1年
177	田中 陽大	タナカ ヨウダイ	M	一般	1年
178	田中 雅彰	タナカ マサチ	M	一般	1年
179	松本 航太	マツモト コウスケ	M	大学生	1年
180	宇田川 瑞生	ウダガワ ミズキ	M	大学生	1年
181	藤原 拓希	フジハラ ヒロキ	M	大学生	1年

### 14 鴨川LSC

182	高橋 泰雅	タカハシ タイチ	M	中学生	2年
183	高橋 泰雅	タカハシ タイチ	M	大学生	3年

### 15 笠岡アクアティクス

184	赤坂 弥鈴	アカサカ ミレイ	F	大学生	1年
185	石塚 香	イシヅカ コノ	F	一般	1年
186	佐野 涼	サノ スズカ	F	大学生	3年
187	武内 瑞穂	タケウチ ルナ	F	大学生	4年
188	武内 優夏	タケウチ ユカ	F	大学生	1年
189	中野 飛	ナカノ ヒナ	F	大学生	4年
190	北野 飛	キタノ ヒナ	F	大学生	4年
191	萩原 暖	ハギハラ ユウ	F	大学生	2年
192	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
193	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
194	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
195	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
196	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
197	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
198	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
199	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
200	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
201	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
202	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
203	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
204	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
205	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
206	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年
207	渡辺 瑞乃	ワタナベ ミズホ	F	大学生	2年

### 16 九十九里LSC

208	河端 詩央梨	カワハタ シオリ	F	中学生	3年
209	小池 詩央梨	コイケ アイ	F	中学生	2年
210	佐藤 悠	サトウ ヒナ	F	高校生	2年
211					



# NATIONAL RECORD

日本記録 / 大会記録

2025年12月2日現在 / 競技審判委員会 承認  
2025年3月9日現在 / 競技審判委員会 承認

種目	日本記録				大会記録			
	タイム	名前	チーム	大会及び会場	タイム	名前	チーム	大会及び会場
障害物スイム (200m)	女子 2分13秒82	平井 葉子	日本代表	LWC2022 (Lifesaving World Championships 2022) イタリア・リゾネーネ	女子 2分14秒45	平井 葉子	九十九里LSC	第34回全日本(2021) 静岡県富士水泳場
	男子 1分56秒78	安藤 秀	Currumbin SLSC	LWC2018 (Lifesaving World Championships 2018) オーストラリア・アデルド	男子 1分58秒28	堀田 恵路	九十九里LSC	第37回全日本(2024) 東京アクアテイクセンター
マネキンキャリー (50m)	女子 34秒35	待井 ひなた	湯河原LSC	第37回全日本プール選手権(2024) 東京アクアテイクセンター	女子 34秒35	待井 ひなた	湯河原LSC	第37回全日本(2024) 東京アクアテイクセンター
	男子 29秒47	堀田 恵路	第14期HPT	Orangecup2025 オランダ・ロッテルダム	男子 29秒68	原 柁太	白浜LSC	第37回全日本(2024) 東京アクアテイクセンター
レスキューメドレー (100m)	女子 1分12秒67	待井 ひなた	湯河原LSC	第37回全日本プール選手権(2024) 東京アクアテイクセンター	女子 1分12秒67	待井 ひなた	湯河原LSC	第37回全日本(2024) 東京アクアテイクセンター
	男子 1分00秒95	紫田 龍之介	湯河原LSC	東京アクアテイクセンター ライフセービング日本代表プール競技選手会(2024年5月) 日曜アリーナ栃木	男子 1分01秒09	堀田 恵路	九十九里LSC	第37回全日本(2024) 東京アクアテイクセンター
マネキンキャリー・ウィズフィン (100m)	女子 53秒37	待井 ひなた	湯河原LSC	第37回全日本プール選手権(2024) 東京アクアテイクセンター	女子 53秒37	待井 ひなた	湯河原LSC	第37回全日本(2024) 東京アクアテイクセンター
	男子 47秒26	西山 俊	日本代表	ワールドゲームズ(2017) ポーランド・ワロフワフ	男子 47秒91	西山 俊	湯河原LSC	第37回全日本(2024) 東京アクアテイクセンター
マネキントウ・ウィズフィン (100m)	女子 59秒24	名須川 紗綾	日本代表	LWC2024 (Lifesaving World Championships 2024) オーストラリア・ゴールドコースト	女子 1分00秒39	名須川 紗綾	茅ヶ崎SLSC	第34回全日本(2021) 静岡県富士水泳場
	男子 52秒94	西山 俊	湯河原LSC	ライフセービング日本代表プール競技選手会(2024年5月) 日曜アリーナ栃木	男子 53秒01	西山 俊	湯河原LSC	第34回全日本(2021) 静岡県富士水泳場
スーパーライフセーバー (200m)	女子 2分31秒69	三井 結里花	九十九里LSC	第30回全日本プール選手権(2017) 横浜国際プール	女子 2分31秒69	三井 結里花	九十九里LSC	第30回全日本(2017) 横浜国際プール
	男子 2分10秒80	紫田 龍之介	湯河原LSC	ライフセービング日本代表プール競技選手会(2024年5月) 日曜アリーナ栃木	男子 2分11秒85	紫田 龍之介	湯河原LSC	第37回全日本(2024) 東京アクアテイクセンター
ラインスロー (12.5m)	女子 12秒30	市川 沙耶、奥村 秋果	日本体育大学	第7回全日本学生プール選手権(2015) 千葉県国際総合水泳場	女子 13秒22	阿形 芽生、石塚 円香	鴨川LSC	横浜国際
	男子 10秒51	西山 俊、岡田 俊	日本代表	LWC2018 (Lifesaving World Championships 2018) オーストラリア・アデルド	男子 10秒76	上野 凌、長竹 康介	西浜SLSC	第28回全日本(2015) 横浜国際
マネキンリレー (4×25m)	女子 1分18秒57	名須川 紗綾、三井 結里花、待井 ひなた、山田純葉	日本代表	ワールドゲームズ(2025) 中国・成都	女子 1分21秒67	上村 向日葵、小久保 琴音、待井 ひなた、山田 純葉	湯河原LSC	第37回全日本(2024) 東京アクアテイクセンター
	男子 1分05秒37	関口 広太、西山 俊、原 柁太、紫田 龍之介	日本代表	ワールドゲームズ(2025) 中国・成都	男子 1分11秒24	新川 将吾、浜地 権依、上野 凌、志賀 海空	西浜SLSC	第37回全日本(2024) 東京アクアテイクセンター
障害物リレー (4×50m)	女子 1分53秒15	伊藤 若菜、名須川 紗綾、平井 葉子、山岸 夢	日本代表	ワールドゲームズ(2022) アメリカ・バーミンガム	女子 1分54秒80	片山 友希、名須川 紗綾、高村 星、中島 静香	茅ヶ崎SLSC	第34回全日本(2021) 静岡県富士水泳場
	男子 1分36秒62	平野 修也、西山 俊、榎野 圭祐、安藤 秀	日本代表	ワールドゲームズ(2017) ポーランド・ワロフワフ	男子 1分38秒50	佐藤 良亮、羽鳥 結輝、野田 瑛太、平野 修也	辻堂LSC	第32回全日本(2019) 横浜国際
メドレーリレー (4×50m)	女子 1分41秒61	伊藤 若菜、山岸 夢、平井 葉子、名須川 紗綾	日本代表	ワールドゲームズ(2022) アメリカ・バーミンガム	女子 1分45秒40	河原 彩那、高津 奈々、関口 瑠唯、浜地 沙羅	西浜SLSC	第37回全日本(2024) 東京アクアテイクセンター
	男子 1分28秒52	平野 修也、長竹 康介、安藤 秀、西山 俊	日本代表	LWC2018 (Lifesaving World Championships 2018) オランダ・アントワープ	男子 1分31秒90	鈴木 雄策、坂場 貴大、安藤 秀、紫田 龍之介	Vikings	第34回全日本(2021) 静岡県富士水泳場
プールライフセーバーリレー (4×50m)	女子 2分01秒27	名須川 紗綾、待井 ひなた、三井 結里花、山田純	日本代表	オランダ・アムステルダム・タムトリアール(2025年1月) 静岡県富士水泳場	女子 2分01秒27	待井 ひなた、三井 結里花、山田純	日本代表	ワールドゲームズ(2025) 中国・成都
	男子 1分42秒81	猪俣 大地、関口 広太、紫田 龍之介、西山 俊	日本代表	ワールドゲームズ(2025) 中国・成都	混合 1分52秒37	待井 ひなた、名須川 紗綾、紫田 龍之介、西山 俊	日本代表	LWC2024 (Lifesaving World Championships 2024) オーストラリア・ゴールドコースト



## TIMETABLE

タイムテーブル

### 2月21日(土)

開始時刻	競技No.	ヒート数	内容	スタートリスト上の表記	(併催)講習会関連
7:00			大会実行委員会/プールライフガードスタッフ入場		
7:15			実行委員会会議/プールライフガードスタッフ打合せ		
7:30			競技役員・スタッフ入場		
7:45			競技役員ミーティング		
8:00			選手入場/ウォーミングアップ		
8:55			メインプールでのウォーミングアップ終了		
9:15			開会式~テクニカルオフィシャル競技エリア入場&紹介		
9:30	1	4H	障害物リレー (4×50m) [女子]	予選	4×50m フリーリレー
	2	4H	障害物リレー (4×50m) [男子]	予選	200m 自由形
	3	5H	障害物スイム (200m) [女子]	タイム決勝	200m 自由形
	4	6H	障害物スイム (200m) [男子]	タイム決勝	200m 自由形
	5	5H	ラインスロー (12.5m) [女子]	タイム決勝	4×25m フリーリレー
	6	5H	ラインスロー (12.5m) [男子]	タイム決勝	4×25m フリーリレー
	7	1H	障害物リレー (4×50m) [女子]	決勝	4×50m フリーリレー
	8	1H	障害物リレー (4×50m) [男子]	決勝	4×50m フリーリレー
12:25			(昼休憩)		
12:35			表彰式① [障害物スイム、ラインスロー、障害物リレー]		
13:10	9	12H	マネキンキャリー (50m) [女子]	予選	50m 平泳ぎ
	10	20H	マネキンキャリー (50m) [男子]	予選	50m 平泳ぎ
	11	13H	マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) [女子]	タイム決勝	100m 平泳ぎ
	12	16H	マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) [男子]	タイム決勝	100m 平泳ぎ
17:30			表彰式② [マネキンキャリー・ウィズフィン]		
17:45	13	1H	マネキンキャリー (50m) [女子]	決勝	50m 平泳ぎ
	14	1H	マネキンキャリー (50m) [男子]	決勝	50m 平泳ぎ
18:20	15	4H	プールライフセーバーリレー (4×50m)	タイム決勝	4×50mメドレーリレー(混合)
18:55			表彰式③ [マネキンキャリー、プールライフセーバーリレー]		
19:15			(全体終了/翌日準備)		

### 2月22日(日)

開始時刻	競技No.	ヒート数	内容	スタートリスト上の表記	(併催)講習会関連
6:30			大会実行委員会/プールライフガードスタッフ入場		
6:40			実行委員会会議/プールライフガードスタッフ打合せ		
7:00			選手入場/ウォーミングアップ		
7:15			競技役員・スタッフ入場		
7:30			競技役員ミーティング		
8:15			メインプールでのウォーミングアップ終了		
8:30	16	4H	マネキンリレー (4×25m) [女子]	予選	4×25m メドレーリレー
	17	4H	マネキンリレー (4×25m) [男子]	予選	4×25m メドレーリレー
	18	5H	スーパーライフセーバー (200m) [女子]	予選	200m 個人メドレー
	19	6H	スーパーライフセーバー (200m) [男子]	予選	200m 個人メドレー
	20	4H	メドレーリレー (4×50m) [女子]	予選	4×50m メドレーリレー
	21	5H	メドレーリレー (4×50m) [男子]	予選	4×50m メドレーリレー
	22	17H	マネキントウ・ウィズフィン (100m) [女子]	タイム決勝	100m自由形
12:40			(昼休憩)		
13:20	23	19H	マネキントウ・ウィズフィン (100m) [男子]	タイム決勝	100m自由形
14:35			表彰式④ [マネキントウ・ウィズフィン]		
14:50	24	5H	レスキューメドレー (100m) [女子]	タイム決勝	100m 個人メドレー
	25	6H	レスキューメドレー (100m) [男子]	タイム決勝	100m 個人メドレー
15:55	26	1H	マネキンリレー (4×25m) [女子]	決勝	4×25m メドレーリレー
	27	1H	マネキンリレー (4×25m) [男子]	決勝	4×25m メドレーリレー
16:15			表彰式⑤ [レスキューメドレー、マネキンリレー]		
16:30	28	1H	スーパーライフセーバー (200m) [女子]	決勝	200m 個人メドレー
	29	1H	スーパーライフセーバー (200m) [男子]	決勝	200m 個人メドレー
17:05	30	1H	メドレーリレー (4×50m) [女子]	決勝	4×50m メドレーリレー
	31	1H	メドレーリレー (4×50m) [男子]	決勝	4×50m メドレーリレー
17:30			表彰式⑥ [スーパーライフセーバー、メドレーリレー、総合表彰]		
18:10			(全体終了)		



## COMPETITION GUIDE

競技説明図

スタート後、25m地点に設けられているマネキンまで泳ぎ、引き上げた後、フィニッシュまでマネキンを運びます。

スタート地点及び折り返し地点の間隔から12.5mの地点に設置された2か所の障害物の下を潜り抜け、200mを泳ぎます。

フィンとレスキューチューブを装着した状態でスタート後、50m泳ぎます。折り返し地点の水中に設置されたマネキンを引き上げ、フィニッシュまでマネキンを運びます。

スタート地点及び折り返し地点の間隔から12.5mの地点に設置された2か所の障害物の下を潜り抜け、50m泳ぎます。これを4名でリレーしていきます。

スタートの合図で、障害物はスローリフトを巻き取り、選手は泳ぎながら正しく泳ぎ、そのスローリフトにつかまった選手はプールを横断して引寄せます。この時、救助者は水中に入ることにはなりません。これを総時間4分5秒以内に行います。

フィンとレスキューチューブを装着した状態でスタートし、50m泳ぎます。50m地点には、目の横にプールサイドからマネキンを保持するハンドラーが待機しています。

競技者が折り返し地点にタッチしたら、ハンドラーはマネキンを渡し、競技者はマネキンにレスキューチューブを付けて、フィニッシュまで運びます。

マネキンを引き上げ、100m地点の折り返し地点まで運びます。競技者がタッチしたらマネキンを渡し、ハンドラーはマネキンを保持し、フィニッシュまで運びます。

フィンとレスキューチューブを装着して50m泳ぎます。150m地点には、目の横にプールサイドからマネキンを保持するハンドラーが待機しています。

競技者が150m地点の壁にタッチしたら、ハンドラーはマネキンを渡し、競技者はマネキンにレスキューチューブを付けて、フィニッシュまで運びます。

スタート後、50m泳ぎます。折り返しから17.5m地点に設置されたマネキンまで潜行し、マネキンを引き上げ、32.5mを泳ぎます。競技者は装着しません。

スタート後、75m泳ぎ、その後潜行して折り返し地点から25mの所に設けられているマネキンを引き上げます。

競技者が折り返し地点にタッチしたら、ハンドラーはマネキンを渡し、競技者はマネキンにレスキューチューブを付けて、フィニッシュまで運びます。

スタート後、50m泳ぎ、壁にタッチして2番目の競技者に引き渡します。

第1番目の競技者は50m泳ぎ、壁にタッチして2番目の競技者に引き渡します。

第2番目の競技者はマネキンを50m地点まで運び、壁にタッチした後、第3番目の競技者にマネキンを手渡します。

第3番目の競技者はマネキンを運び、72.5m～77.5m地点の5m間で第4番目の競技者にマネキンを手渡します。

第4番目の競技者は第3番目の競技者から受け取ったマネキンをフィニッシュまで運びます。

第1番目の競技者は50m泳ぎ、壁にタッチして2番目の競技者に引き渡します。

第2番目の競技者はマネキンを50m地点まで運び、壁にタッチした後、第3番目の競技者にマネキンを手渡します。

第3番目の競技者はマネキンを50m地点まで運び、壁にタッチした後、第4番目の競技者にマネキンを手渡します。

第4番目の競技者は第3番目の競技者から受け取ったマネキンをフィニッシュまで運びます。

第1番目の競技者は50m泳ぎ、壁にタッチして2番目の競技者に引き渡します。

第2番目の競技者はマネキンを50m地点まで運び、壁にタッチした後、第3番目の競技者にマネキンを手渡します。

第3番目の競技者はマネキンを50m地点まで運び、壁にタッチした後、第4番目の競技者にマネキンを手渡します。

第4番目の競技者は第3番目の競技者から受け取ったマネキンをフィニッシュまで運びます。

第1番目の競技者は50m泳ぎ、壁にタッチして2番目の競技者に引き渡します。

第2番目の競技者はマネキンを50m地点まで運び、壁にタッチした後、第3番目の競技者にマネキンを手渡します。

第3番目の競技者はマネキンを50m地点まで運び、壁にタッチした後、第4番目の競技者にマネキンを手渡します。

第4番目の競技者は第3番目の競技者から受け取ったマネキンをフィニッシュまで運びます。

概ね30歳以上なら誰でも参加できる世界最大級のスポーツ祭



# ワールドマスタース ゲームズ 2027関西

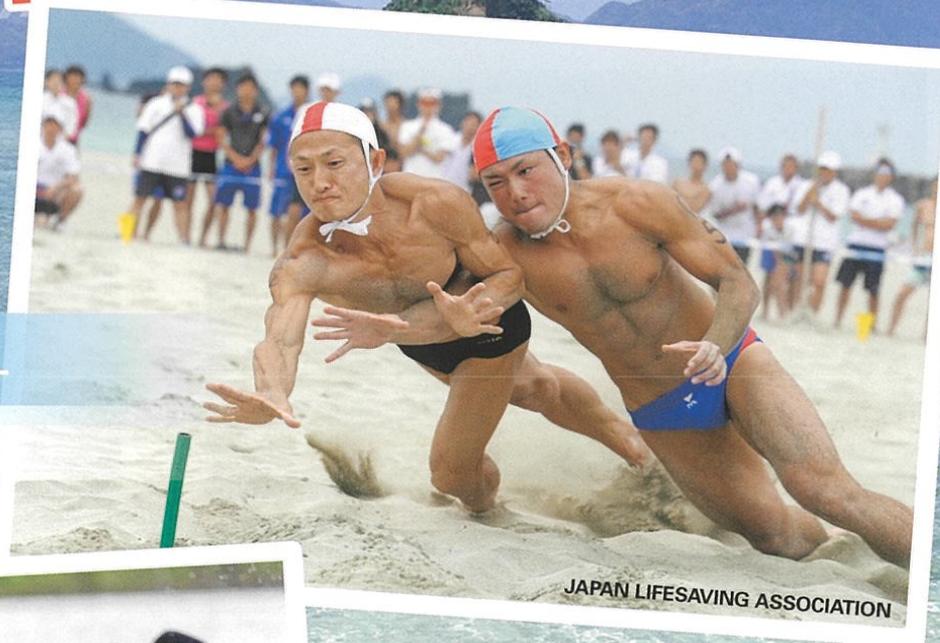
2027. 5/14 ▶ 5/30

35競技  
59種目

LIFESAVING

ライフセービング - 高浜町 -

【公式競技】



JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION



CANOE POLO

カヌーポロ - あわら市 -

【公式競技】



幸福度 日本一 福井で世界大会!